



# みなみ筑後の大豆づくりこよみ

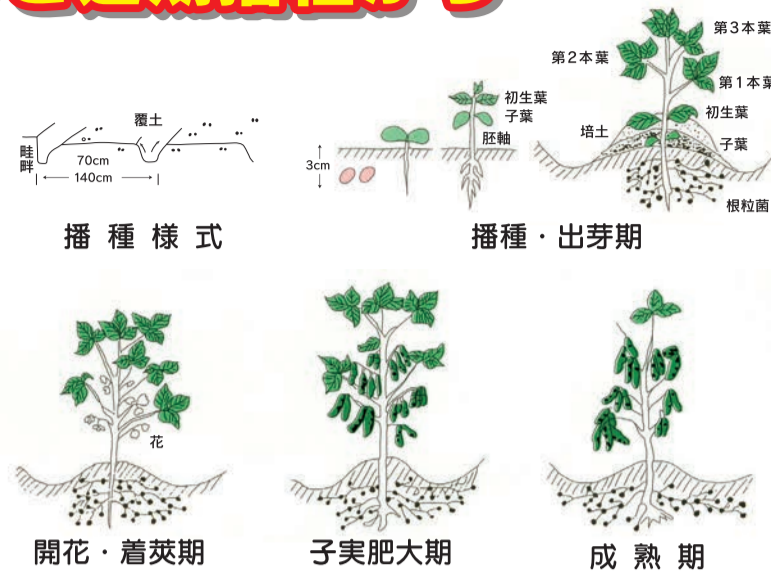
作成：令和4年4月  
南筑後農業協同組合  
南筑後普及指導センター

## 大豆づくりはまず土づくりと適期播種から

### 令和4年産

#### 喜ばれる「みなみ筑後」の大豆づくり重点事項

- (1) 収量・品質の向上
  - ① 収量向上対策の徹底(土づくり、連作の回避、排水性の改善)
  - ② 基本技術の励行(適期播種、排水対策、中耕・培土、病害虫・雑草防除)
  - ③ 種子更新率100%
- (2) 安全・安心な大豆生産
  - ① 栽培履歴・GAP(農業生産工程管理)の全出荷者記帳・提出
  - ② 農薬適正使用と飛散防止対策の徹底
  - ③ 発生予察に基づく適期防除による農薬使用回数の低減



月	旬	主な作業	作業内容
6	上	品種	「フクユタカ」とする。 <b>品種特性表</b> 参照
	中	土づくり	<b>PHの矯正 6.0程度に矯正 ミネラルG200kg/10aを投入</b> 地力増強のため麦ワラや堆肥などの有機物や、とれ太郎60kg/10a、土力の素45kg/10aを投入し、地力を維持する。
	下	(雑草防除)	<b>除草剤基準</b> 参照
7	上	種子消毒 施肥 耕起・播種	キヒゲンR-2フロアブルを種子1kg当り20ml塗沫またはキヒゲンを種子1kg当り10g粉衣する。(鳥の食害防止)または、クルーザーMAXXを種子1kg当り8ml塗沫する。(鳥の食害防止・ネキリムシ対策・湿害軽減)
	中	雑草防止	<b>施肥基準</b> 参照 ロータリー耕で充分砕土を行い、同時に播種する。 ※梅雨明け後は、ほ場が乾燥し過ぎる前に、速やかに5cm以上の深さで播く。 ※鳥害回避の為一斉播種を行う。部分浅耕播種や組作業で適期播種を行う。
	下	補植	欠株が多い場合は、密植部分から根に株元の土を多くつけた状態で補植する。 (追播は、成熟期が異なるため行わない)
8	上	中耕・培土	播種後15日頃(本葉3枚頃)
	中	害虫防除(ハスモンヨトウ)	播種後25~30日頃(本葉5枚頃) <b>病害虫防除基準</b> 参照 ※白変葉(ハスモンヨトウ孵化直後)の手取り除去を行う。
	下	病害虫防除(ハスモンヨトウ)(カメムシ類)(紫斑病)	<b>病害虫防除基準</b> 参照 ※8月中下旬の防除と9月上中旬の防除は必ず行う。また、9月上中旬の防除時は、3種混合で行う。
9	上	畦間かん水	子実肥大期に、ほ場が乾燥しすぎるようであれば、かん水を実施する。
	中	青立株抜取り	刈り取り前に、青立ち株や雑草を抜取る。
	下	成熟期	成熟期は大部分が落葉し、莢を振ると音をたてる程度に乾燥した時期
10	上	刈取	刈取適期は、成熟期~成熟期後10日頃まで (汎用コンバインでの刈取は成熟期後7~14日頃)
	中	脱粒	脱粒機は、損傷粒が発生しないように回転数に気をつける。
	下	乾燥	水分は12%以上13%以下まで十分乾燥する。 (火力乾燥厳禁)
11	上	調整	虫喰粒・異物等を選粒機で除去する。
	下		

干ばつ時の畦間かん水

#### 品種特性表

品種名	開花期	成熟期	主茎長	耐倒伏性	10a当り子実重
フクユタカ	8月19日	11月3日	70cm	中	339kg

※7月10日播種

#### 播種時期・栽植密度規準(2粒点播の場合)

播種時期	7月5日~19日(適期播)	7月20日以降(遅播)
播種量(kg/10a)	3.0~5.0	6.0~7.0
条間、畦幅(cm)	70、140	
株間(cm)	25~30	15~20

#### 施肥基準

播種時期	10a当り	
	7月上旬~中旬(適期播)	7月下旬以降(遅播)
土壌改良材	ミネラルG 200kg とれ太郎 60kg・土力の素 45kg	
基肥	PK化成40号 20kg	ちくごのめぐみ444 10kg
追肥	生育が著しく不良の場合、開花期までにNK2号 10kg施用	

#### 除草剤基準

使用時期	除草剤名	10a当り使用量	10a当り希釈水量	使用上の留意点
播種前(雑草が多い場合)	ラウンドアップマックスロード	200~500ml	25~100ℓ	飛散防止対策を徹底しましょう。
	バスタ液剤	300~500ml	100ℓ	
播種後出芽前(雑草発生前)	ラクサー粒剤	4~8kg	—	砕土を丁寧に行い、覆土を十分に行う。
	ラクサー乳剤	400~800ml	100ℓ	1年生雑草
	フルミオWDG	5~10g	100ℓ	ホオズキ類・ホリアオゲイトウ ラクサー乳剤と混用
雑草生育期(8月) イネ科雑草 3~10葉期	ポルトフロアブル	200~300ml	100ℓ	1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く) 収穫30日前まで
大豆2葉期~ 開花前	大豆バサグラン液剤	100~150ml	100ℓ	アサガオ類・ カロライナツユクサ 収穫45日前まで

※特にフルミオWDGを使用する場合は、散布器・タンク・ホース・ノズルは専用の洗浄剤で丁寧に洗浄して下さい。

#### 病害虫防除基準

防除時期	対象病害虫	薬剤名	10a当り使用量	使用回数	備考
8月中~ 9月中旬	ハスモンヨトウ	プレバソンフロアブル5	4,000倍 水150ℓ 16~32倍 0.8ℓ	2回以内	無人航空機 散布
		プレオフロアブル	1,000~2,000倍 水150ℓ 8~16倍 0.8ℓ	2回以内	
9月上~中旬	カメムシ類	キラップフロアブル	2,000倍 水150ℓ 16倍 0.8ℓ	2回以内	無人航空機 散布
		トップジンM水和剤	700~1,500倍 水150ℓ	4回以内	
	紫斑病	トップジンMゾル	5倍 0.8ℓ		

※10月上旬まで加害するので、2回防除を必ず実施する!!



## 農薬適正使用と飛散防止対策を徹底しましょう!

南筑後農業協同組合 農畜産課 TEL(63)8814  
 南筑後普及指導センター TEL(62)4191  
 瀬高グリーンセンター TEL(62)4111  
 山川グリーンセンター TEL(67)1214  
 高田グリーンセンター TEL(22)3218  
 大牟田グリーンセンター TEL(56)8915